

蔵王の森の四季

~ '20
春・初夏~

学校休業があっても…元気！

平成26年に蔵王の森に絶滅危惧植物トウサワトラノオが育つガルテン『虎の尾』を整備し6度目の春を迎えました。

昨年、児童（現6年生）がたねをまき、3月に移植した株が根付き、今年も5月には花をたくさん咲かせることができました。今年は、感染症防止対策のための学校休業が長引き、子ども達の元気な声が聞こえず、蔵王の森もちょっぴり寂しい春でしたが、吉西小の子ども達に会えて、元気いっぱいになりました！



5月になってスイレンが咲き始めた『五霊池』では、クロメダカが元気よく泳ぎ、子メダカの姿もたくさん確認できました。また、トウキョウダルマガエルやギンヤンマのヤゴもみんな元気に生育することができました。現在は、5年生がメダカの卵をふ化させ、可愛い赤ちゃんが誕生しています。

今年もジャコウアゲハの幼虫が育っています。「木の日*」も始まり、幼虫がさなぎから素敵な成虫へと姿を変えるのが、とても楽しみです！



6月から、学校再スタート！

『蔵王 子どもの森』は…

平成14年12月に「自然とふれあい、自然から学ぶ目的」で、地域の皆様の協力によって造成されました。多くの広葉樹が植林され、その後、『森の家』が建てられ、クロメダカやトウキョウダルマガエルが泳ぐビオトープ『五霊池』、学区内で発見された絶滅危惧植物トウサワトラノオが育つ『ガルテン虎の尾』が造られ、現在に至っております。

*一昨年度より、授業以外の時間で、毎週木曜日の昼休みを「木の日」と名付け、生き物が大好きな児童が、自由に森を散策し生き物とふれあえる日に設定しました。